

平成29年度第2回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

提出課題一覧表 1

町会連合会名	馬場校下町会連合会
地域課題	馬場校下における人的資源の活用と互助力向上について
課題の内容	<p>馬場校下では、地域の高齢化進展に伴い、一人暮らしの高齢者や、家族と同居していても、家族が仕事等に出かけ、長い日中を一人きりで過ごす高齢者が増加している。これら的高齢者は、日常生活において、大きな支障はなく、介護保険制度、障害者福祉制度などの公的な支援サービスを受けられない場合が多い。</p> <p>日常生活では大きな支障はないものの、簡単な作業に苦慮することは多くあり、必要な時に、必要な援助を受けることができないケースが見受けられる。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>高齢者の日常生活における困りごとをサポート登録した地域住民（通勤者等を含む）がお手伝いする「サポーター倶楽部（仮称）（※）」に取り組んでいきたい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>「倶楽部」立ち上げ時のサポーター登録を、まずは地域の有志から試験的に行い、最終的には、学生や近隣企業に勤務する社員にも登録いただきたい。サポーター登録が多いほど互助力が向上するので、校下在住の市職員も積極的な登録をお願いしたい。</p> <p>高齢者の困りごとを少しでも解決できるよう取り組んでいくために、市からの具体的なアドバイスをお願いしたい。</p> <p>【サポーター倶楽部（仮称）（※）】 高齢者の困りごと（例：電球、電池の交換、郵便物の投函、宅配受取等、日常生活における軽作業）をサポート登録した通勤者等を含む地域住民が行う。サポーターは、困りごとを解決した対価として「互助チケット（仮称）」を受け取り、記念品等と交換できる。</p>

提出課題についての市の方針等 1

地域課題	馬場校下における人的資源の活用と互助力向上について
提案・提言等	<p>「サポーター倶楽部」立ち上げ時のサポーター登録を、まずは地域の有志から試験的に行い、最終的には、学生や近隣企業に勤務する社員にも登録いただきたい。サポーター登録が多いほど互助力が向上するので、校下在住の市職員も積極的な登録をお願いしたい。</p> <p>高齢者の困りごとを少しでも解決できるよう取り組んでいくために、市からの具体的なアドバイスをお願いしたい。</p>
市の方針等	<p>貴連合会で検討されている「サポーター倶楽部」の取り組みは、本市が進めている「地域安心生活支え合い事業」との類似性が非常に高い内容と認識している。</p> <p>「地域安心生活支え合い事業」は、ひとり暮らし高齢者等の孤立防止と日常生活のちょっとした困り事への対応を地域住民主体のボランティアが行うもので、このようなサポート体制を各地区で構築することを目指している。</p> <p>この事業は平成25年度から地区社会福祉協議会を実施主体として、現在、市内54地区のうち、19地区で取り組んでおり、今後、実施地区を順次拡大する予定である。</p> <p>事業運営にあたっては、金沢市福祉総務課と金沢市社会福祉協議会が指導・助言を行うとともに、立ち上げ経費として1地区あたり20万円を地区社会福祉協議会に交付している。</p> <p>馬場校下は、「地域安心生活支え合い事業」を未実施であることから、貴連合会の提案内容について馬場校下社会福祉協議会をはじめ関係団体と協議いただき、是非来年度から実施してほしいと考えている。</p> <p>市職員のサポーター登録については、日頃より職員には地域活動・ボランティア活動を推奨しており、積極的な参加を促していきたい。</p>
担当課	福祉総務課 電話 220-2318 長寿福祉課 電話 220-2288